

## 略歴

# 松尾 隆 (まつお たかし) 教授

1956 (昭和 31) 年 12 月 11 日生 鹿児島県出身

## 学歴

- 1975 年 3 月 鹿児島県立鹿屋高等学校卒業
- 1975 年 4 月 九州大学経済学部入学
- 1979 年 3 月 九州大学経済学部経済科学科卒業
- 1979 年 4 月 九州大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1981 年 3 月 九州大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1981 年 4 月 九州大学大学院経済学研究科博士課程入学
- 1984 年 3 月 九州大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

## 学位

- 博士 (経済学) (九州大学、2013 年 3 月)

## 職歴

- 1984 年 4 月 九州大学経済学部助手 (1985 年 9 月まで)
- 1985 年 10 月 熊本女子大学生生活科学部講師 (1988 年 3 月まで)
- 1988 年 4 月 熊本女子大学生生活科学部助教授 (1994 年 3 月まで)
- 1994 年 4 月 熊本県立大学総合管理学部助教授 (2003 年 4 月まで)
- 2003 年 4 月 熊本県立大学総合管理学部教授 (2022 年 3 月まで)
- 2012 年 4 月 熊本県立大学総合管理学部長 (2014 年 3 月まで)

## 在外研究

- 1992 年 8 月 南カリフォルニア大学(1993 年 7 月まで)

## 所属学会

- 経済学史学会、金融学会、証券経済学会、信用理論研究学会

## 主な研究業績

### I. 著書

#### 単著

『アレン・ヤングの経済思想 - 不確実性と管理の経済学 - 』（ミネルヴァ書房、2012年2月）

#### 編著

『経済社会のダイナミズム — 21世紀のビジネス・アドミニストレーションを考える - 』（  
（税務経理協会、2001年10月）

#### 共著

『銀行論講義』（鈴木芳徳編、新評論、1986年4月）

『現代生活の諸問題』（熊本女子大学生生活科学研究会編、明文書房、1991年10月）

『金融論 — 理論・歴史・政策 - 』（鈴木芳徳編、ミネルヴァ書房、1995年5月）

『制度としての経済社会 — 世界の中の日本 — 』（高哲男編、九州大学出版会、1996年5月）

『千年紀のパラダイム — アドミニストレーション（下） - 』（熊本県立大学総合管理学会編、  
九州大学出版会、2004年10月）

### II. 論文（すべて単著）

「国際通貨ポンドの形成過程に関する一考察」（九州大学大学院経済学会『経済論究』第58号  
1983年12月）

「連銀の対外金融政策とウォール街 — 国際通貨ドルの形成過程との関連で —」（九州大学  
大学院経済学会『経済論究』第62号、1985年8月）

「ニューディール期における消費者金融の動向と商業銀行 — 消費支出の管理機構内化との関  
連で —」（熊本女子大学『生活文化研究』第5巻第1号、1987年12月）

「1930年代アメリカにおける商業銀行の収益構造と消費者金融業務」（『熊本女子大学学術紀  
要』第40巻、1988年3月）

「国際通貨と国際金融市場 — 木下教授の所説をてがかりに —」（熊本女子大学『生活文化研  
究』第8巻第1号、1989年11月）

「第一次大戦後米国の対外経済政策とウォール街」（証券経済学会『証券経済学会年報』第31  
号、1996年3月）

「ウィルソン政権下でのナショナル・シティ・バンクの対外進出 — 金融の国際化と国内摩  
擦（1） — 」、『アドミニストレーション』（熊本県立大学）、第2巻2号、1996年10月）

「アメリカ経済社会と対外金融問題 — 主に第一次大戦後の銀行家達の見解を中心に —」（熊  
本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第6巻2/3合併号、2000年2月）

「第一次大戦後ブーム期の対外金融問題 — 財務省および連邦準備局の見解を中心に -」（熊  
本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』、第6巻4号、2000年3月）

「景気回復と銀行信用 — アレン・A・ヤングの景気循環論(1) -」（熊本県立大学総合管理学会  
『アドミニストレーション』第8巻3/4合併号、2002年3月）

「繁栄・恐慌と銀行信用 — アレン・A・ヤングの景気循環論(2) -」（熊本県立大学総合管理  
学会『アドミニストレーション』第9巻1/2合併号、2000年12月）

- 「1920年代の連邦準備制度 — Allyn A. Young の視点を通して - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第11巻3/4合併号、2005年3月)
- 「A. A. Young の景気循環対策 — 知識、失業保険、公共事業 - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第12巻3/4合併号、2006年3月)
- 「A. A. Young の金融政策 — 景気循環との関連で - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第14巻3/4合併号、2008年3月)
- 「叡智としての金本位制 — A. A. Young の所説 - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第15巻3/4合併号、2009年9月)
- 「不換の通貨体制と投機 — A. A. Young の所説 - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第16巻3/4合併号、2010年2月)
- 「『富の集中』に関するアレン・ヤングの所説」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第22巻2号、2016年2月)
- 「経済進歩と人間 — Allyn A. Young に聴く - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第23巻2号、2017年2月)
- 「アレン・ヤングの投機論 — 投機が行う善と悪 - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第25巻2号、2019年3月)

### III. 研究ノート(単著)

- 「1920年代アメリカにおける金融政策論争 - 景気循環との関連で - 」(熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第9巻3/4号、2003年3月)

### IV. 学会・研究会報告(すべて単独)

- 「国際通貨ドルの形成過程について」(金融学会西日本部会、1983年11月)
- 「1930年代アメリカにおける消費者金融と商業銀行」(金融学会西日本部会、1988年10月)
- 「国際通貨と国際金融市場 - 木下教授の所説をてがかりに - 」(金融学会西日本部会、1990年3月)
- 「A. A. ヤングの貨幣・金融政策思想」(経済学史学会西南部会、2005年10月)
- 「A. A. Young の貨幣制度論 — 不換の通貨制度は望ましくない - 」(アメリカ経済思想史研究会、2009年10月)
- 「ニュー・リベラリズムとヤング経済学」(経済学史学会西南部会、2011年7月)

### V. 調査報告 (共著)

- 「地域経済の活性化と国際化の1考察 — タイ (バンコク) と韓国 (ソウル) の現地調査から - 」(久間清俊ほか、熊本県立大学総合管理学会『アドミニストレーション』第2巻4号、1996年3月)

### VI. 辞典

- 『経済思想史辞典』(経済学史学会編、丸善、2000年6月、ブレトンウッズ体制、外国為替論)